

自分のやりたい仕事を目指して

職業選択に男女差なし

二月九日、高野尾小学校に、市橋南保育園の男性保育士、森下成比古さんと中消防署中署の庄司ひとみ・山本珠理消防士の三人が招かれ、三年生の児童十九人と対話形式の授業が行われました。

この授業は、人権教育の一環で、職業の選択について幅広い視野を子どもたちに持つてもらうために行われたもので、児童たちは二つの班に分かれて「仕事をしていてうれしいこと、つらいことは何ですか」、「なぜ今の仕事を選んだのですか」といった質問をしていました。質問を受けた二人の女性消防士は「うれしかったのは、



子どもたちの質問に答える  
山本消防士(左)と庄司消防士(右)



子どもたちに保育士になった理由を語る森下さん(右後方)

ご家族の方からありがとうと言われたことです」「救急車が出動中に亡くなられた方がいると、自分の無力さを感じ悔しくてつらいです」と答えました。また、森下さんは「保育士という職業は女の人のイメージがあり悩んだけど、子どもが好きで、家族や友達が自分のなりたい職業を目指した方がいいと応援してくれたので」と保育士になった理由を説明しました。最後に女子児童から「私も将来消防士になりたい」という言葉をもたらった二人の消防士は、「これからもっと女性の働く環境が良くなっていくと思うので、十年後、一緒に現場に行こう」と約束を交わしました。

津市芸濃消防団

三重県消防法大会出場選手結団式を挙行

津市芸濃消防団(白井美樹樹長)は、二月十一日、芸濃総合支所において、平成十八年度三重県消防操法大会に出場するにあたり、出場選手の結団式を行いました。

結団式では、谷口繁喜三重県消防協会中勢支会会長や地元選出の杉谷育生津市議会議員、並びに野田重門消防長から激励と祝辞をいただき、選手一同、身を引き締めていました。

その後、選手を代表して青木芳光団員が選手宣誓を行い、最後に白井団長の決意表明がなされて、参加者一同は七月二十二日に開催される大会まで、訓練の精進と健闘を誓いました。



谷口繁喜三重県消防協会中勢支会会長に訓練の精進と健闘を誓う出場選手たち

3月の行事予定

3/1 ~7	春の火災予防運動週間
3/ 4	防火キャンペーン (イオン津南ショッピングセンター)
3/ 5	消防団防火パレード(市内各地)
3/19	津市消防団結団式(メッセウイングみえ)
3/21	三重県消防大会 (県総合文化センター中ホール)
3/28	津市防火協会設立総会 (県総合文化センター多目的ホール)

編集後記

トリノオリンピックピックが十七日間の熱戦に幕を閉じました。開幕中は連日夜遅くまでテレビで観戦してしまい、寝不足気味になってしまいました。皆さんはいかがでしたでしょうか。日本のメダル獲得は、女子フィギュアスケートで金メダル一つというものでしたが、他にも惜しい種目がいくつもあり、とても残念でした。日本中に夢と感動を与えてくれた選手の皆さん、ありがとうございます。と同時に本当にお疲れ様でした。

(松下康典)

